

第26回参議院通常選挙闘争必勝のための特別決議 (案)

3月19日、20日私たちは東京で社会民主党第19回定期全国大会を開きました。広島県連合は議長に檀上代表、規律委員に柏床常任幹事、代議員福山幹事長・有田副代表が大会運営と議論に参加しました。福島みずほ党首は夏の参院選について「社民党は、今回の参院選で改選を迎える福島党首を含めて4人が当選するか、2%の得票率を確保できなければ公選法上の政党要件を失う」「比例1議席の獲得に120万票が必要。240万票以上を獲得し、2人以上の当選を果たそう」と訴えました。「何としても政党要件の得票率2%をクリアしなければならない。社民党にとって本当に正念場の選挙だ」と決意表明と呼び掛けをおこないました。比例代表で得票率2%を確保した上で、得票率4%と2議席獲得を目標とする闘争方針案が提案され了承されました。党首は併せて「野党共闘で新しい政治をつくっていききたい」と訴えました。

日本共産党志位委員長と立憲民主党水岡参院議員会長、市民連合などが来賓あいさつを行い、共闘に向けた連帯を表明しました。志位委員長は「参院選で野党共闘を成功させるために力をあわせよう。今の政治を変えるには、市民と野党の共闘を、どんな困難があっても乗り越えて、発展させることが、どうしても必要ではないでしょうか。」と訴えました。大会は「野党共闘は断固進める」とした参院選闘争方針案などを可決しました。

社民党の基本的な考え方は、社民党の政党要件を活用する形で、基本政策が一致する政党や政治団体と幅広いネットワークをつくり、全国比例の統一名簿の「推薦枠」を活用し「他党の擁立する候補者を社民党の名簿に推薦枠として登載する」方法とした。その結果、社民党の全国比例名簿に「公認」と「推薦」の名簿を登載し、個人票を競い合って当選順位を決定する一方で、政党・個人名で出た票は社民党の獲得票として積算されることとなります。社民党を基軸にした幅広い政治勢力を結集し、全国比例2名の当選を実現していきます。「非正規社会からの脱却宣言—いのちの安全保障確立に向けて」では特に、①非正規・格差・貧困問題②平和外交③脱原発・環境が重要です。その3つのぶれない政策の実現を求めていきます。総じて憲法理念の実現が基本です。

以上のような全国状況・方針のもとで社民党広島県連合は具体的な闘争を進めていきます。今次目標得票率4%に対して、この間の実績は、16年参院2.74%（広島県比例2.35% 26,281票）、17年衆院1.69%（広島県1.50% 17,446票）、19年参院2.09%（広島県1.9% 19,288票）、21年衆院1.77%（広島県1.87% 22,705票）でした。早急な県連合・各支部協選対委員会の結成、新社会党等との政策協議、立憲野党（立憲民主、れいわ、共産）、市民連合との共闘、連合傘下労組・労働者等との共闘態勢を構築していきます。

各支部協議会は県連合との調整の下、地域職場に出向きましょう。平和・いのちと暮らしを守る政治と社会の実現のため、労働・地域の現場・市民生活の現場との交流を重ね科学的認識を深めましょう。改憲阻止に向け、地方自治体選挙、7月参議院通常選挙闘争を全力で闘い抜きましょう。比例区福島みずほ、大椿ゆうこ、キム・テヨン（金泰泳）、宮城一郎各公認候補、岡崎彩子（新社会党）推薦候補の必勝、前哨戦としての府中市議会水田豊公認候補の必勝を勝ち取りましょう。大会議論のなかで明らかになった前進の基盤を共通認識として県連合、支部連合、支部協議会の組織強化を進め、党の前進を勝ち取りましょう。

以上、決議します。

2022年3月26日

社会民主党広島県連合第29回定期大会